

## 地球惑星科学委員会 I U G S 分科会 I C S 小委員会（第25期・第2回）議事要旨

日時：令和5年5月26日（金）15:20～16:00

会場：ハイブリッド開催

現地会場：幕張メッセ（〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）

遠隔会議（ZOOM）

出席者：松岡 篤（委員長），上野勝美，江崎洋一，岡田 誠，木村 学，齋藤文紀，堀 利栄，佐野晋一

### 議題

#### (1) ICS subcommissionの活動状況について

- ・シスウラリアン統（いわゆる下部ペルム系）の下から3つめの階であるアーティンスキアのGSSPが承認され，論文がEpisodesに受理された。
- ・ウーチャーピンジアン階（ローピンジアン統一いわゆる上部ペルム系の基底）のGSSPについて，ダムによる水没のため，隣接したセクションへの再定義と，GSSPと同じ，中国・広西チワン族自治区内の別セクションをSABSとする提案がなされており（資料1），ICSに送付されている。
- ・白亜系の基底であるベリアシアン階のGSSPについてはワーキンググループで検討が進められているが，その層準について，白亜紀とジュラ紀のsubcommission間で，今後，すりあわせが必要になる可能性もある。
- ・チバニアン（中部更新統）に対するStandard Auxiliary Boundary Stratotype (SABS) が提案され，第四紀のsubcommissionで審議中である。
- ・人新統のGSSPについては，ワーキンググループの議論がほぼ終息し，SABSとあわせて，第四紀のsubcommissionに7月に提案される予定である（候補地は6月末に公表予定）。

#### (2) 25期の活動計画

- ・ICSで，Standard Auxiliary Boundary Stratotype (SABS)が公式に承認された（資料2）。既に，幾つかのSABSについて議論・承認プロセスが開始されており，本委員会でSABSの日本語訳を定める必要がある。現在のところ，「標準補助境界模式地」や「標準補助境界模式層」などの提案があり，今後，メールベースで議論する。
- ・SABS 提案の流れもあり，日本において各年代層序単元境界にあたる地層にどのようなものがあるのかをとりまとめる活動をしてはどうか，という提案があった。
- ・JpGU で「年代層序単元境界の研究最前線」セッションが開催された。地質学会でも，関連したセッションの提案がなされている。
- ・Strati 2023（7月11～13日，フランス）について話題となり，今後の会議への積極的な参加を促すために，広報・宣伝に努める必要がある。

#### (3) その他

- ・第26期への引き継ぎについて意見交換を行った。

配布資料

資料 1 : Shen et al. (2023) *Permophiles*, Issue 74, 9-37.

資料 2 : Head et al. (2023) *Episodes*, v. 46, 99-100.

以上